

串間の野球シーズン開幕

3月27日、市営球場で今季初めての野球大会となる第27回森田旗争奪野球大会が行われました。市内から学童の部に6チーム、中学の部に4チームが出場。開会式では、大東野球スポーツ少年団の野邊竜太郎くんが選手を代表して宣誓を行いました。4月2日に決勝戦が行われ、学童の部ではドラゴンズジュニア、中学の部では福島中学校がそれぞれ優勝しました。いよいよ串間に野球の季節が到来します。



森を未来へ残していきます

4月2日、北方地区・秋山にて日南市の吉田産業とウッドエナジー協同組合による植樹祭が開かれました。社員や南那珂森林組合の職員とその家族の方など約130人が参加し、約4,000㎡の土地に1,000本の鉄杉を植樹。今年で9回目となるこの活動は、森林の恩恵を受けている企業だからこそ、未来に森林資源を残していく活動をすることが必要との理念から始められ、新入社員の貴重な現場体験にもなっています。



防犯についてももう一度考えよう

4月4日、串間市防犯協会の主催により、春の地域安全運動（4月1日～10日）と連動した街頭啓発活動が、スーパードローム前で行われました。防犯協会のほか警察や市役所などから併せて約10人が参加。買い物客にパンフレットや啓発用品などを配布し、振り込め詐欺やクーリングオフ、自転車盗難などへの注意を呼びかけました。また8日には、Aコープ大東店前でも街頭啓発運動を実施し、防犯について啓発していました。



期待を胸に、福島高校入学式開催

4月9日、福島高校の入学式が行われました。今年度の新入生は92人。新しく始まる学校生活への期待を胸に入学式に臨んでいました。学校長式辞では早日渡志郎校長から「一人ひとりが輝いて、きらりと光る福島高校をともに作り上げていきましょう」とのあいさつがありました。また千葉ロッテマリーンズの西村徳文監督からの祝電も披露され、生徒たちは西村監督の言葉に聞き入っていました。



行政相談活動お疲れさまでした

4月12日、市役所にて行政相談委員への総務大臣感謝状贈呈式が行われました。贈呈されたのは代口修さんと坂田美貴子さんの2人。代口さんは10年、坂田さんは6年にわたり行政相談員を務められました。「相談を受けた人が笑顔で帰る姿を見ることがやりがいです」と話す代口さん。坂田さんは「行政相談員に相談してくれると多くのことを解決できます。そのことがもっと伝わってほしい」と話していました。



笠祇小学校の児童たちが田植えを体験

4月14日、笠祇小学校の児童9人が田植えを体験しました。この田植えは中山間等直接支払制度事業の支援を受け、笠祇地区の鈴木弥須夫さんの田んぼで行われました。児童たちは鈴木さんの指導を受けながら先生たちと一緒に田植えに挑戦。みんな仲良く、熱心にもち米の苗を植えています。今回植えられたもち米は、11月に行われる触れ合い参観日での収穫祭で、地域の方々と一緒に食べられます。



スポーツ少年団委員総会開催

4月15日、永友荘で串間市スポーツ少年団委員総会が開催されました。野球やサッカーなどの少年団から約50人が参加し、今年取り組む活動について協議。平成22年度に本部長を務めた岡留浩さんは「昨年は口蹄疫などの影響で思うように大会などが進められないこともありましたが、皆さんの協力で乗り越えることができました」とあいさつを述べられ、今年度、本部長を務める岩下猛さんにバトンを引き継ぎました。



読書を始めるきっかけをご用意

4月23日は子ども読書の日です。この機会に子どもたちに読書に親しんでもらうため、串間、日南、志布志の図書館が協力し4月23日から2週間、子ども読書週間を実施。週間中、特設されたコーナーに図書館職員が選んだお薦めの本を展示します。小学生、中学生、高校生それぞれに合う本を用意しています。また、移動図書館でも同じ本を読むことができます。皆さんもこの機会に、読書を始めてみてください。

